2023 年 12 月 19 日（火）【外為Ｌａｂ】松田哲
タイトル：【日銀金融政策決定会合は現状維持を決定】

今月初旬（2023 年 12 月 7 日）、植田日銀総裁が参議院の財政金融委員会で、今後の金融政策運営について、
「年末から来年にかけて一段とチャレンジングになる」
と述べた。

この時点でのマーケット（外国為替市場）は、日銀が金融政策の修正、すなわち、日銀が利上げに向かう、と判断し、その結果、ドル／円は急落した（＝ドル安円高が進行した）。

++

しかし、昨日今日（2023 年 12 月 18 日、19 日）の日銀金融政策決定会合では、特段の変化は無かった。

日銀は、昨日今日（2023 年 12 月 18 日、19 日）の金融政策決定会合で、ＹＣＣ（イールドカーブコントロール）を中心とした大規模な金融緩和政策の現状維持を決定した。

フォワードガイダンスの変更も無かった。

日銀は短期政策金利をマイナス 0.1%に据え置き、長期金利（10 年債国債金利）の誘導水準を 0%程度として、上限を 1%を「めど」とするＹＣＣを維持した。

++

事前の予想では、金融政策の現状維持が大勢を占めていたので、今回（2023 年 12 月 18 日、19 日）の結果は想定の範囲内と言える。

しかし、フォワードガイダンスを修正するのではないか、といった観測は強かったので、その点では、想定外といった感がある。

++

しかしながら、来年（2024 年）1 月の金融政策決定会合で、マイナス金利解除の可能性を予想する声は大きく、それが大勢を占めている、と言える。

++

++

今月の米国ＦＯＭＣ（2023 年 12 月 12 日、13 日）を終えて、同じく、今月のＥＣＢ理事会（2023 年 12 月 14 日）も、既に終了している。

昨日今日（2023 年 12 月 18 日、19 日）の日銀金融政策決定会合を終えたので、年内の最重要イベントは、全て終了した、と言える。

今週末の日曜日（12 月 24 日）は、クリスマスイブで、当然ながら、その翌日の月曜日がクリスマス当日だ。

年内（2023 年内）の最重要イベントを終えて、いよいよ世界中がクリスマスムードになるのだろう、と考えます。

年内（2023 年内）は、もう無理をしないで、来年（2024 年）に備えるタイミングと考えます。

++
++

（2023 年 12 月 19 日東京時間 15：15 記述）